

予防医学協会総合健診センター ヘルスポートだより

PSA検査のお勧め

—前立腺がん早期発見のため—

前立腺がんは男性の泌尿器にある前立腺に発生するがんで、わが国でも年々増加傾向がみられ、がんによる死亡原因の上位にランク入りしつつあります。一方、早期発見により適切な治療を受ければ、他のがんと比べ予後は良好であることも分かっています。当欄で紹介するPSA検査は、この前立腺がんに対する有力な診断手段として、健診、診療の場で用いられています。

●前立腺はどこにある？

前立腺は男性の膀胱の下部に尿道を取り巻くように存在する、胡桃の実程度の大きさの臓器です。

●PSAってなに？

前立腺特異抗原のことで、前立腺から分泌される酵素で、精液中に分泌され精子の運動性を高める働きをします。したがって正常ならば血液中への浸出はごく僅かですが、前立腺に疾患があると増加します。

●PSA検査でわかること

PSAは前立腺から生理的に分泌されていますので、健常者でも多少血液中に浸出していることはあります(0.1ng/ml以下)。一方前立腺疾患の場合はその数十倍の濃度となります。具体的には、4.0ng/ml以上ですと精密検査が必要と判断されます。もちろんこの場合でも、がんばかりではなく、前立腺肥大、前立腺炎などの良性疾患の可能性もありますので、排尿困難、排尿痛など症状の有無も診断の手がかりとなります。他に、マッサージ、直腸診などの前立腺への物理的的刺激によりPSAが上昇することがあります。ただし前立腺肥大にがんが合併することなども少なくありませんので、異常値が出た場合は自己判断は禁物で専門医への受診が必要です。

当ヘルスポートでも、人間ドックのオプション項目としてPSA検査を入れています。ごく少量の血液があれば判定可能で、ドック当日結果をお知らせし、異常値の出た方は専門医に紹介させていただいております。とくに50歳を過ぎた男性の方は是非検査を受けられることをお勧めします。

総合健診センターヘルスポート 所長 田川隆介



当協会では、昨年9月「デジタルX線車」を導入し、高性能な「胃・胸部デジタルX線車」を配備しました。この検診車が装着する胃・胸部デジタルX線車は、最新のデジタル撮影方式のためフィルム及び現像処理は不要で、判定までの処理速度が飛躍的に向上します。

胃・胸部デジタルX線車を配備 視聴覚障害者や 外国人の方にも対応可能

また、画像の質が大変良いという特徴があります。さらにもう一つの特徴は、視聴覚障害者及び外国人にも対応可能な画像音声装置を搭載していることです。(六ヶ国語まで対応可能……日本語、英語、北京語、広東語、ポルトガル語、韓国語の音声)

検査車は、日本財団の補助金と当会の資金により配備したもので、当協会は現在県下の住民・外国人の方々にもやさしい検査ができるものと確信しています。

備する胃・胸部デジタルX線車は、最新のデジタル撮影方式のためフィルム及び現像処理は不要で、判定までの処理速度が飛躍的に向上します。

外国人の方にも対応可能

声と文字表示、イラスト画像で検査に必要な動作を説明する) これにより、視聴覚障害者や外国人労働者の方にも分かりやすく、安心して検査を受けていただけるようになります。



年間10万人余の健康診断を実施しておりますが、今後は障害者や国内企業で働く外国人の方々にもやさしい検査ができるものと確信しています。

当会、新井課長補佐に 中央会奨励賞

— 予防医学全国大会が開催 —



財団法人予防医学事業中 市民文化ホールにおいて開中央会主催する第53回予 催され、全国から予防医学事業推進全国大会が学・寄生虫予防の関係者が去る10月17日盛岡市の盛岡 多数参加した。

大会では功績者の表彰が 検査精度の高さを懸命に宣行われ、当協会の東部事務 伝するなど、県東部地域を所健康増進課の新井幸樹課 中心とした健診検査の拡大長補佐(現在は東部事務 に努めた。所々長)が予防医学事業中 また、お客様からの信頼 中央会奨励賞を受賞した。 も厚く、持前のフットワー新井課長補佐は、平成2 クの良さと誠実な人柄で、年に当協会に入職以来、涉 さらなる活躍が期待されて外業務一筋に活動し、健診 いる。 検査の大切さや、当協会の

次回全国大会は 10月静岡市で!

平成21年度の第54回予防 催します。医学事業推進全国大会が静岡 全国35支部から予防医学 学・寄生虫予防の関係者多数が集い行われるもので、特別講演の講師は各界で活躍されている方をお招きす 会及び当協会が共催して、 予定になっています。な 来年10月1日(木)静岡市の静岡 グランシップを会場に開 となります。

こころの健康とうつつ・自殺対策

産業保健セミナー開く

当協会は、去る11月19日 静岡グランシップにおいて 第11回産業保健セミナーを開催しました。

県下企業の保健衛生担当者対象に毎年行っている同セミナーは、今回「こころの健康とうつつ・自殺対策」と題し、静岡県精神保健福祉センターの細貝雅章 専門監と市原眞記主査 による講演 会を実施し、関係者多数 が聴講しました。 近時、自殺 者が増え

るなかにはうつ病であった者が多数を占め、その4人に3人は医療機関を受診してはなかった実態など「自殺と精神障害」の講話や、その対策として県が平成18年度に富士市関係機関等の協力で始めた、かかりつけ

(編集室より)

新年明けましておめでとうございます。日ごろ当協会機関紙「けんこう静岡」をこ 愛読いただき誠にありがとうございます。 本年も、皆様方に愛される機関紙となりますように室員一同努力してまいりますので、よろしく願い申し上げます。 皆様にとつて、この一年がよい年でありますようお祈りいたします。

(編集担当 北川英明)



当協会の健康とうつつ・自殺対策 産業保健セミナー開催の様子